

峰山学園「SNS講習会」を実施

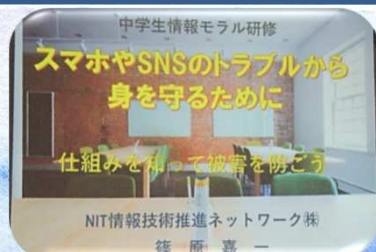
7月3日(水)に、NIT情報技術推進ネットワーク(株)篠原 嘉一様をお迎えし「SNS講習会を行いました。午前の部は学園内の小学生4・5年生を対象に「ゲームやスマホのはなし」と題して講習会を実施しました。



4・5年生のほとんど全員が家にゲーム機を持っており、自分のスマホを持っている子もいる現状の中で、スマホやゲームの使用に関わる危険性を知ることが、自分の身、家族を守る上でとても大切なことです。ゲーム使用には年齢制限があること、ユーチューブは13歳から見てもよいサイトで、**小学生が見るなら「キッズユーチューブ」**を見るようにしたらよいこと等、教えて頂きました。年齢が低い時から**刺激の強い映像や動画を長時間視聴すると脳に与えるダメージが大きく、アルコールよりも脳へのダメージが大きい**ことに衝撃を受けた児童も多くいました。自分が写っている画像から家を検索され、怖い思いや事件にまで発展した事例の紹介もありました。**“正しく使うことの大切さ”**を痛感した子どもたちです。使用に関わっては今一度、家族で話し合い、ルールを決めるなどして、子ども達を守っていければと思います。

児童感想

・ぼくは今までユーチューブなどのアプリにも対象年齢があることを知らなかったのでこれからの生活ではアプリのことも気を付けようと思いました。SNSの怖いことなどがあることは知っていたけど、具体的には知らなかったので勉強になりました。
・ネットの犯罪、危ないこと、だましに気を付けることを教えてくれてありがとうございます。私もスマホのゲームやスイッチのだまし、危険性がわかったのでこれからはもっと気を付けます。私も兄弟も依存症にならないように時間を絶対決めてきまりを守りたいと、強く心に決めます。



中学生は1～3年生の全員を対象にして講習を受けました。3年生は和室で、1・2年生はそれぞれの教室でタブレット、電子黒板を通して視聴しました。新たな法律のことも知り、トラブルに巻き込まれないよう気を付けていく必要があることを学びました。

生徒感想

・ スマホを使う年齢が下がってきているという話が怖いと思った。また、インターネットでの実際の出来事や危険性、対策なども知ることができたので良かった。ネットのいい所だけでなく怖さもしっかり知っておくことが大切だと感じた。これからもルールを守って安全にネットやゲームをやりたいと思った。
・ 自分の写真をあげただけで自分の個人情報が全て知らない人にばれてしまったり、情報が拡散されたりすることがすごく怖いと感じました。ストーカーの被害とかに合わないためにも、自分の個人情報を外に出さないこと、偽ゲームをしないこと、知らない・よくわからないアプリは入れないことを忘れないでおきたいです。



保護者の部では、実際にスマホを操作しながら“個人情報が出ていないか”“位置情報や会話の内容が漏れていないか”等をチェックしブロックの仕方や操作方法を学びました。最近の犯罪に繋がる内容を含め、子ども達を含め家族を危険性から守る大切さを学びました。講習会後も個別に相談されている方もおられ、熱心に学んでいた様子でした。